

土木学会舗装工学委員会
平成 18 年度第 1 回コンクリート舗装小委員会議事録

日時：2007 年 1 月 12 日（金）15:00～17:20

場所：社団法人 セメント協会 大会議室

出席者：

〔委員長〕西澤辰男

〔幹事長〕吉本徹

〔委員〕安藤豊，井上直，加形護，梶尾聡，黒岩義仁，坂本康文，佐藤和正，鈴木徹，高橋貴蔵，竹内康，谷口克也，谷口博，中原大磯，板東芳博，源厚，山脇宏成，吉松慎哉
(以上，19 名)

配付資料：

- (1) 第 1 回コンクリート舗装小委員会 議事次第
- (2) コンクリート舗装小委員会 設立趣意書
- (3) 話題提供ー北米のコンクリート舗装情報ー
- (4) コンクリート舗装小委員会 名簿

議事：

1. 委員長挨拶

- ・調査テーマを選定するに当たり，次回委員会以降数回は情報交換としたい．
- ・見学会も行いたい．テーマにあった場所があれば情報提供いただきたい．

2. 自己紹介

3. 話題提供

(1)道路協会からの情報提供（井上委員）

- ・道路協会の舗装設計施工小委員会にコンクリート WG が 2006 年 11 月に設置．議論はこれから．
- ・本委員会などとテーマが重複しないよう，情報交換したい．

(2)セメント協会の取り組み（安藤委員）

- ・供用中の国道コンクリート舗装のライフサイクルコスト調査
- ・低水セメント比のコンクリートを用いた早期交通開放コンクリート舗装の開発
- ・ポーラスコンクリート，ホワイトトッピング試験舗装の追跡調査
- ・解析プログラムの開発

(3)舗装標準示方書について（西澤委員長）

- ・舗装標準示方書を今年度末に発刊予定．
- ・コンクリート舗装の部分は，コンクリート標準示方書舗装編から軽微な変更程度．
- ・再生骨材など今後対応すべき課題もある．

(4)北米のコンクリート舗装情報（吉本幹事，配布資料(3)参照）

- ・カリフォルニア交通局の取り組み
- ・補修工法ーダイヤモンドグランディング
- ・燃費調査

(5)意見交換

- ・舗装示方書小委員会のコンクリート舗装分科会で実施していた，試設計作業が未完であることから，道路・港湾・空港のコンクリート舗装の設計例題集を作成するワーキンググループを作りたい．コンクリート舗装の種類は，普通コンクリート舗装，連続鉄筋コンクリート舗

装（CRCP）、PC舗装、転圧コンクリート舗装（RCCP）。

- ・本委員会で空港や港湾も検討範囲にすることであれば、重荷重小委員会とテーマが重複する可能性がある。

⇒基本的にコンクリート舗装は本委員会が担当であると思われる。西澤委員長も重荷重小委員会のメンバーであるので、八谷委員長とテーマが重複しないよう調整する。

- ・コンクリート舗装の耐久性に関する意見。

⇒中間層の有無で目地部の荷重伝達の耐久性が異なる。中間層が設計上必要かどうか検討する必要がある。

⇒路盤のエロージョンの問題。外国では路盤にポーラスな材料を使用しているケースもある。

⇒目地間隔の問題。目地間隔が短ければ、目地幅の開きが小さく雨水等の浸入頻度も減少し、ダウエルバーの腐食も防げるかもしれない。

⇒段差の問題。疲労ひび割れの発生を限界値にしているが、段差も重要なファクタ。段差式は外国の算定式そのもので、この算定式の評価もままならない状況。

- ・路盤の問題。CTBなど高強度路盤の理論的設計法の検討が必要。

- ・新しい考えの舗装について

⇒韓国ではRCC上にCRCを用いることを試みている。

⇒コンポジット舗装。NEXCOではトンネル内は、CRCをベースに排水性アスファルトのコンポジット舗装が標準。

⇒耐震舗装に関する研究。

- ・鉄網の問題。効果があるのかないのかはっきりさせる必要がある。入れなければ施工コストが低減できると思われる。

- ・ASSHITOガイドの紹介（海外の設計法）。

4. 次回委員会

次回委員会開催に向けて、以下の検討をすることにした。次回委員会は、3月を目処に調整することにした。

- ・コンクリート材料や構造に関する情報提供をお願いする（幹事→河野委員、岸委員）。
- ・昨年のベルギーの国際会議でのトピックスなどの発表を児玉委員をお願いする（幹事→児玉委員）。
- ・テーマの候補を取りまとめるにあたって、次回委員会前までに各委員にアンケート調査を行う（アンケート作成：委員長、幹事）。
- ・試設計の作業計画案の作成（西澤委員長）。
- ・ASSHITOガイドの内容に関する解説準備（西澤委員長）。

以上